

# 葛飾フットサルリーグ速報

## 第15節

K1リーグ		
大江戸FC	1対1	黄金世代
MXPX	7対1	いいいちこ
いさか	5対4	タコポーズ
いいいちこ	1対3	FREEDOM
いいいちこ	10対1	FREEDOM

K2リーグ		
H&S	4対4	FREEDOM
野人	2対2	ホソヤ
L. D. S	3対1	FREEDOM
ASC	7対1	串カツ
ARE?	2対2	FREEDOM
酒乱	4対2	FREEDOM

K3リーグ		
ういるす	4対1	ばるたん
SHIROHIGE	5対3	八木さん一家
キングジョー	4対1	ボンビーズB
プラチナ	4対0	FREEDOM

## 順位

K1リーグ			
	勝点	動向	つぶやき
1、MXPX	41	↑	完全優勝
2、イサカ	29	↑	辛うじて
3、ときわそう	26		今週休み
4、不夜城	22		今週休み
4、黄金世代	22	→	PKが...
6、大江戸FC	18	→	ナイスヘッド
7、いいいちこ	11	→	来期に期待
8、タコポーズ	4	↓	出直し!

K2リーグ			
	勝点	動向	つぶやき
1、ホソヤ	35	→	次はK1制覇
2、野人	31	→	もう少しで
3、酒乱	27	↑	快勝
4、ASC	26	↑	リーグ後半で
5、L. D. S	13	↑	丸谷ショー
6、H&S	11	→	もったいない
7、串カツ	10	↓	パテパテ
8、ARE?	5	→	形は完璧!

K3リーグ			
	勝点	動向	つぶやき
1、ボンビーズB	33	↓	痛い敗戦
2、キングジョー	30	↑	追いついた
3、ぶらちな	28	↑	強い!!
4、八木さん	26	↓	どうした?
4、ういるす	26	↑	貴様勝ち
6、SHIRO	25	↑	柿崎ラッシュ
7、ばるたん	21	↓	攻めきれず
8、T-BRONZE	3		今週休み

## K1リーグ

黄金世代 対 大江戸FCの対戦は、序盤黄金世代は、若手の頑張りも有リスピードある大江戸の攻撃をしっかり押さえ込むとカウンターから先制した。後半に入っても両チーム守備は堅く、決定機を作らせずにいたが、一瞬の隙を突いて大江戸坂口が同点ゴールを叩き込んだ。その後決定機を両チーム作るも決めきれずドローとなった。

MXPX 対 いいいちこの対戦は、序盤MX小金井を軸に今日もボールを回し、いいいちこディフェンスをかく乱していったが、いいいちこキーパー山田を中心に堅い守りを見せた。後半に入りMXエンジン全開久々参加のW佐藤の活躍や中村のキャノンで徐々に引きはなし、最終節を快勝で飾った。

チームイサカ 対 タコポーズの対戦は、序盤からパワープレーを仕掛けるイサカに対しタコポーズは、早いチェックでボールをカットし無人のゴールに放り込んだ。イサカのボール回しは、完璧に近いものをみせていたが、悉くゴールに嫌われ突き放すことが出来なかった。終始展開は、変わらないなかでイサカが逃げ切った。

## K2リーグ

H&S 対 FREEDOMの対戦は、序盤FREEDOMの素早い展開にH&Sが付いていけず、失点を重ねてしまった。徐々にH&S得意の全員ディフェンスとパスワークをみせ始めると一気に形勢は、逆転し追い上げムードとなった。終盤逆転するかと思われたが前半での失点と決定機を逃してしまい、勝てる試合を引き分けてしまった。

野人 対 ホソヤの対戦は、優勝決定戦となった試合は、ホソヤの攻勢で試合が始まったものの野人手塚のファインセーブもあり失点せずにいるとカウンターから野人尾藤がゴール隅に決め先制した。嫌な流れをホソヤ熊谷が、同点弾を叩き込み断ち切った。後半野人三枝の素晴らしいミドルが、ネットを揺らし野人ペースであったが、一瞬の隙をホソヤが抉じ開け、同点に持ち込み優勝を決めた。

L. D. S 対 FREEDOMの対戦は、序盤から先週の試合で噛み合っていなかったL. D. Sが、素晴らしい連携をみせFREEDOMを圧倒していった。連携は上手くいったもののゴールで嫌われ得点できずにいたが、丸谷が個人技で抜け出し先制点を叩き出すと完全にゲームを支配した。得点差は、それほど開いてはいないが完璧な試合運びだったと言えるだろう。

ASC 対 串カツ新小岩マンの対戦は、序盤こそASCの連携が噛み合わず互角の展開をみせていたが、後半に入り交代選手も遅れて参加で勢いづき、一気に得点を叩きだし勝利した。

ARE? PAREDA 対 FREEDOMの対戦は、前半ARE?がパスワークをみせ野人ディフェンスを崩しに掛ったが、野人の固い守りを崩しきれなかった。後半もARE?の優勢で試合を進めていたが、得点差を付けきれず追いつかれタイムアップとなった。

## K3リーグ

ういるす 対 ばるたんCLUBの対戦は、最終戦で徐々にメンバーが揃った感の有るういるすは、運動量豊富で若手ばるたんを圧倒していた。ボールが落ち着かない展開が続く中、強烈なシュートがばるたんゴールを襲い得点を積み上げていった。ばるたん中島、岩見も奮闘を見せるも形勢を逆転出来るまでいかなかった。

SHIROHIGE 対 八木さん一家の対戦は、序盤SHIRO伊藤を軸にボールを組み立て八木さんディフェンスを崩し先制するとここ数試合ゴールに嫌われていた柿崎に当たりが戻り八木さんを突き放していった。八木さんもキャプテン八木を欠くせいか、いつになく噛み合わない試合が、最後まで抜け切れなかった。SHIROHIGEは、最終節でいい流れが取り戻せていた。

キングジョー 対 ボンビーズBの対戦は、優勝の掛った大事な一戦ということもあり両チーム立ち上がりから気合がぶつかり合う展開となった。序盤ボンビーズの攻撃に勢いがあつたもののシュートを悉く外してしまうと流れがキングに傾きカウンターから先制を喰らってしまった。中盤以降互角の展開の中、確実にゴールを決めたキングが勝利し、優勝への鍵を握った。

プラチナSTYLE 対 FREEDOMの対戦は、序盤プラチナの足出良く、個人技で状況を打開し得点に繋げていった。徐々にFREEDOMに捕まり始め追いつかれる展開となった。後半に入ると集中力が落ちるのか連携、シュート精度が落ちてくる傾向があるので要注意である。



MVP SHIROHIGE  
柿崎 風人選手  
狙い撃ち !!



MVP MXPX  
小金井 和也選手  
生き返りました。



MVP L. D. S  
丸谷 生選手  
みんなのおかげです。



MVP ASC  
今野 一磨選手  
有難うございます。

MVP